



01 水戸赤十字病院

病院の概要 /

開設	1923年6月
開設者	日本赤十字社
院長名	佐藤 宏喜
病床数	442床
標準科 (24科)	内科、外科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、消化器外科、血管外科、脳神経外科、乳腺外科、緩和ケア内科、整形外科、形成外科、麻酔科、リウマチ科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科



医師数	64人
指導医数	25人
研修医数	10人
研修医の主な出身大学	秋田大学、高知大学、福島県立医科大学、獨協医科大学、東京医科大学
外来患者数	757人/日
入院患者数	198人/日

募集要項 /

応募資格	2024年3月国家試験合格見込者 医師免許取得済で初期臨床研修未実施者
採用人数	5名(予定)
試験日程	2023年8月上旬まで随時実施
選考方法	面接
処遇	■身分: 常勤嘱託 ■給与: 1年次 40万円、賞与 20万円 2年次 45万円、賞与 50万円 ■社会保険: 有り ■住居手当: 28,500円を上限に支給

病院見学対応状況

- 見学時間…随时(平日)
- 対象…全学年
- 宿泊…近隣の宿泊施設を紹介
- 問合せ先…担当者:企画課 介川
TEL:029-221-5177(内線3154)
E-mail:kikaku@mito.jrc.or.jp

女性医師支援

- ### 妊娠・出産・育児のための支援制度等
- ・育児短時間制度
 - ・院内保育所の設置
(月~金 7:30~19:00(22:00まで延長可))
(0歳~6歳まで)
 - ・産前産後休暇、育児休業
 - ・子の看護休暇(年間5日間)・結婚休暇(連続5日間)
 - ・出産祝金・介護休暇(年間5日間)
 - ・時間外勤務、深夜勤務の制限及び深夜勤務の免除

研修プログラムの特色

指導医とマンツーマンで治療を進める実践的な研修により、将来の専門性にかかわらず、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に対応できるプライマリ・ケアの基本的診療を身につけることができます。

1年目は基礎である内科、外科、救急科を研修し、2年目は地域医療、産婦人科、小児科、精神科以外の期間は、診療科を自由に選択できます。また、相談に応じてローテーションの変更もできます。

なお、協力病院・施設では、地域医療:いばらき診療所こづる、いばらき診療所みと、保健・医療行政:茨城県中央保健所、水戸市保健所、介護老人保健施設みがわ、茨城県赤十字血液センター、救急科:水戸済生会総合病院(三次救急)、精神科:栗田病院、内科・総合診療科:総合病院水戸協同病院での研修が可能です。

研修スケジュール例

1年次	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
	内科							外科			救急		
2年次	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
	地域医療 産婦人科 小児科 精神科							選択科					

選択科: 内科【総合病院水戸協同病院も選択可能】、脳神経内科、小児科、外科、救急科【水戸済生会総合病院(三次救急)も選択可能】、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、麻酔科、精神科【栗田病院】、総合診療科【総合病院水戸協同病院】、地域医療【いばらき診療所こづる、いばらき診療所みと】、保健・医療行政【中央保健所、介護老人保健施設みがわ、茨城県赤十字血液センター】

専門研修の募集について

当院では、下記の診療科で専門研修連携施設としてプログラムに参加しております。

診療科	基幹施設
内科	水戸済生会総合病院、水戸医療センター、東京医療センター
外科	慶應義塾大学病院、東海大学医学部附属病院、東京医科大学八王子医療センター、筑波大学附属病院、北里大学病院、藤田医科大学病院
整形外科	筑波大学附属病院、水戸協同病院
形成外科	筑波大学附属病院
脳神経外科	筑波大学附属病院(※関連施設)
皮膚科	筑波大学附属病院
泌尿器科	東邦大学病院医療センター大森病院
産婦人科	昭和大学病院、筑波大学附属病院、昭和大学横浜市北部病院
眼科	筑波大学附属病院
麻酔科	太田西ノ内病院
リハビリテーション科	筑波大学附属病院

研修・認定施設一覧

- ・日本外科学会外科専門医制度 修練施設
- ・日本乳癌学会 認定施設
- ・日本整形外科学会専門医制度 研修施設
- ・日本人間ドック学会暫定研修施設
- ・日本周産期・新生児医学会周産期(母体・胎兒)専門医 指定研修施設
- ・日本ペインクリニック学会 指定研修施設
- ・日本眼科学会専門医制度 研修施設
- ・日本臨床細胞学会 認定施設
- ・日本超音波医学会 研修施設
- ・日本がん治療認定医機構 認定研修施設
- ・日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
- ・大腸CT検査技術認定施設
- ・日本腎臓学会 認定教育施設
- ・日本婦人科腫瘍学会 指定修練施設
- ・日本女性医学会 認定研修施設
- ・日本大腸肛門病学会 認定施設

病院からメッセージ



プログラム指導責任者
清水 芳政 教育研修推進室長

当院は水戸及び近隣地区の急性期医療を担う中核病院で特に外科系診療科は県内でもトップクラスの症例数を誇っています。募集人数は1学年5名で研修プログラムは、1年次(内科24週、外科16週、救急12週)で基礎をしっかりと身につけ、2年次の地域医療、産婦人科、小児科、精神科の外は希望する診療科での研修が可能です。また連携病院での研修も可能で要望に沿った研修内容を組み立てることができます。ローテーションの変更にも柔軟に対応しています。指導医とマンツーマンで診療に当たるため多くの処置や手技の修得が可能で人間力と機動力の兼ね備えた医師になって頂く事を目標としています。「赤十字の責務」である災害医療の分野にも研修医の参加を勧めています。ぜひ、生き生きとした研修医の現場を見学にいらしてください。



研修医
鈴木 宇

当院は実践型の研修が最大の特長だと考えております。内科では指導医とのマンツーマンで、初診から退院まで密に治療に囲わり、1年目から研修医が主体となって病棟管理を行います。外科では指導医、後期レジデントの下、病棟管理・多様な手技・勉強すれば何件もの執刀の経験を積むことができます。研修プログラムは非常に柔軟で、興味があれば科の垣根を越えて手技や症例を経験することができます。また、比較的余裕のあるプログラムで、自己学習の時間を確保する事ができるのも大きなメリットと考えています。研修医同士の仲は良く、お互いの経験を共有して、共に向上しあえる雰囲気です。皆様にもぜひ一度見学にいらして、当院での研修の魅力を体感していただきたいです。